



平成25年11月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
視点・声・ペンべん草	こどもの詩・俳句・短歌	ひと・すぼっと	スポーツ	青年の家だより	みんなが仲良く	まつかわ大学松川町文化祭
					松川町駅伝大会	今田人形里帰えり公演



まつかわ百景 ⑦④

「ツツザキヤマジノギク」(松川町天然記念物)

10月～11月に「筒咲き」の花びらをつけ、咲き誇る。

松川町若手農業者の会「若武者」の会員は30名ほどで、一人一人が日々自然やそれぞれの作物と向き合っ
て農業を仕事としています。
年齢は18～40歳くらいまで
で、定期的に勉強会や視察
研修や販売体験などの活動
をしています。会員同志
が良き仲間として、良きラ
イバルとして刺激を
受けたら、協力し
合ったり出来るあり
がたい会だと思っ
ています。

会員の多くは、く
だもの里松川町と
いうだけあり果樹農
家が9割です。でも
果樹と一言でいって
も、リンゴ・梨・
桃・さくらんぼ・
ブルーベリー…なども
ほとんどに多くのくだものが
栽培されている町だなあと
感じます。また果樹の他に
も、お米・野菜・花・畜産・
山菜となんでも育てられる
すばらしい環境の町でもあ
ります。

そんな自然豊かな松川町
で育った作物はもちろん美

主張

松川町若手農業者の会

若武者の一人として

味しく、どこか温かさをも
感じます。

1軒1軒の農家の規模や
経営スタイルはそれぞれ違
いますが、美味しいものを
作りたい、消費者の皆様に
喜んでもらいたいとの思い
はみんな一緒です。その
ために努力や苦労、あるい
は工夫してがんばっていま
す。

世間では、農家の高
齢化・遊休農地・地球
温暖化が原因といわれ
る異常気象・TPPな
ど農業を取り巻く不安
要素は山積みです。し
かし、1年間を通して
季節を感じ、旬を味わ
い、大自然と共に生き
ていることの意味を教
えられる職業だと感じ
ますし、誇りにも思います。

時代とともに生活環境や
私たちの暮らしも変化して
いくと思いますが、これか
ら先も今以上に若武者の会
が発展して、また松川町の
農業をはじめとする各産業
がさらに盛んになってほし
いと願います。

若武者 宮下 弘希

今田人形里帰り公演

福与地区実行委員の発見により実現

今田人形座 福与公演

10月12日に福与元気村が開かれ、目玉行事として今田人形の上演が行われました。

今田人形座は、龍江で宝永元年（1704）から神社へ奉納上演を行っています。元々村所有だった人形を一座所有の物として活動をし、平成3年にフランスにて上演。現在年間20〜30回前後の上演を



会場いっぱいの区民が里帰りを見守った。

行っています。戦中・戦後と衰退した時代があり、公民館人形部として活動した記録も残っています。

今田人形は3人遣いで、頭・右手を操る面づかい、左手を操る左づかい、人形の膝を表現する足づかいの3人で一つの人形を操ります。左手の動きに人形の目線を合わせる時など、3人の息の合った操作が必要とされます。

里帰り

福与とのつながり

今回、今田人形が里帰り公演となったのは、実行委員の北林峻さんが60年程前に小学生の宿題で近所の人から、「龍江の今田人形は、福与の人形だった」と聞いた記憶から始まりました。

今から230年前、天明年間に淡路国より人形指導者を招き、近隣の人々に教えた事で「福



公演の間に行われた3人遣いの解説

与人形」が誕生しました。

その後、人形芝居が盛んに行われたが、文政13年（1830）に江戸幕府から神事を禁止され、明治12年（1879）には、鑑札制度で税金が掛かるようになって人形芝居はやらなくなつたそうです。

今田人形座には、福与人形との記録が残っており、北林さんから実行委員は、飯田市図書館へ行き龍江村村史等を調べ、明治21年（1888）に

今回公演された人形浄瑠璃 2幕

「福与の人形を今田人形がかなりの量を買った」と言う規約書を発見。福与人形が今田人形座に売られたことが判明し、今回の里帰りとなりました。

人形の大修理を行っているのでどの人形が福与の物か判らないが、福与の人形達が今田人形座を支えてくれた、感謝の意味も込め上演できた。」と公演の成功を語ってくれました。

戎舞

淡路人形で古くから伝承された神事の舞。えびす様が豊作・豊漁・世界平和やお家繁盛を祈りながら御神酒を飲み、酔って舟に乗り大きな鯛を釣り、めでたし、めでたしと言う話。里帰り公演では、福与の発展、里帰り公演を祝って御神酒を飲み、盛り上げてくれました。



御神酒を飲みほすえびす様

傾城阿波の鳴門巡礼歌の段

阿波の国の城主・玉木家のお家騒動を中心とした話の一部の上演。巡礼の娘にいろいろ尋ねてみると、国へ残してきた娘だったが、我が子と名乗れず、娘を国へ帰るように論ず場面の話、「ととさんの名は阿波の十郎兵衛、かかさんの名はお弓と申します」と言う、聞いた事があるフレーズが登場しました。



切ない気持ちを見事に表現

男女とも高校生チームが活躍

第29回 松川町駅伝大会

平成25年11月3日(日)



総合優勝「松川高校陸上競技部」

総合優勝

「松川高校陸上競技部」

コメント

1区 丸山 玲央さん
初めて出場したが、緊張せず、気持ちよく走れた。

2区 原 謙二郎さん

とにかく1位で繋ぐと走った。高校生の力の差を見せる事ができた。

3区 岡田 英希さん

1位で襷を受け、自分のペースで走る事ができた。初めて出て、1位で渡せてよかった。

4区 塩沢 大樹さん

ペースを考えながら走れてよかった。先導のバイクを抜くつもりで頑張った。

5区 塩沢 直樹さん

3年生で部活を引退している、久しぶりに走って気持ちよかった。先導車を抜く事ができた。

6区 平栗 広大さん

登りが多くきつい区間だったが、後ろから速い人が来ていたが、前の人までの貯金があつて抜かれずに1位でゴールできた。



特別賞「仏の今さん弟子部」

特別賞

「仏の今さん弟子部」

今回、特別賞が松川中学出身の女子高校生チーム「仏の今さん弟子部」におくられました。

「とても気持ち良く走ることができ、賞もいただきたいです。ありがとうございます。」

女子高校生らしい、さわやかなコメントをいただきました。

第29回 松川町駅伝大会 結果

平成25年11月3日(日) 午前9時10分スタート

総合優勝	松川高校陸上競技部	1時間7分40秒
------	-----------	----------

【部門別】

	優勝	準優勝	第3位
一般男子	松陸コーチ 1時間7分57秒	日の出ランナーズ 1時間13分34秒	松陸おやじ~ず 1時間18分32秒
一般女子	天によじ登るおっ母ず 1時間38分12秒	松陸ママさん 1時間53分19秒	
高校生男子	松川高校陸上競技部 1時間7分40秒		
高校生女子	仏の今さん弟子部 1時間19分18秒		
中学生男子	クリエイティ部 1時間14分20秒	ポジティ部 1時間14分52秒	男子松川籠球部 1時間15分51秒
中学生女子	Fighting 1時間21分55秒	ゆめピー柿ピー 1時間35分12秒	
小学生男子	陸上アスリートボーイ 1時間15分38秒	スマイルサッカー 1時間21分05秒	東小魂 1時間31分20秒
小学生女子	陸上アスリートレディー 1時間21分52秒	少年少女ソフトテニス 1時間31分27秒	陸上アスリートガール 1時間33分08秒

お客様の“ありがとう”が聞きたくて —仕事は楽しく、自分に限界をつくらない— まつかわ大学 第2講座 (9月28日)



表情豊かに話される講師の三浦さん

三浦さんによると、接客とは舞台であるお店で最高の演技力と演

出力で、自分らしく販売することだそう。皆同じの接客マニユアルは嫌いとか。接客中は俳優や女優になったつもり、が良いのかも。

三浦さんが短期間で所長になれたのは、あきらめない気持ちをもつことだったとか。評価されない、何回かの挫折があっても原因は自分にあると思ひ、決してあきらめない。

一生懸命、一所懸命に続けることがキャリアになるそうです。自分で実践してこられたからこそのお話しは、明日からの働く力につながることでしょ

電車の旅で楽しみなのが駅弁。その土地の食材を使って作られた駅弁の売上を、1年で5千万円もアップさせたカリスマ販売員、三浦由紀江さんが今回の講師です。

以前にテレビで紹介された時、同じくらいの時給だから私もガンバロウ！と気合いを入れたのを思い出しました。

以前にテレビで紹介された時、同じくらいの時給だから私もガンバロウ！と気合いを入れたのを思い出しました。

以前にテレビで紹介された時、同じくらいの時給だから私もガンバロウ！と気合いを入れたのを思い出しました。

以前にテレビで紹介された時、同じくらいの時給だから私もガンバロウ！と気合いを入れたのを思い出しました。

以前にテレビで紹介された時、同じくらいの時給だから私もガンバロウ！と気合いを入れたのを思い出しました。



オープンガーデン



ハローウィンパーティー



布楽輪



演芸



松川高校ボランティア部



木目子人形クラブ



アルパの演奏



煎茶のお点前

第20回
松川町文化祭
期日 平成25年10月25日金・26日土・27日日
会場 松川町民体育館

5 問題 考える みんなで 権考 仲良く 人を

遊んで楽しかった

北小3年 米山 楓果

休み時間に、わたしが一人
で本を読んでいたら、そうた
つさんが、

「いっしょに遊ぼうよ。」

とわたしとまなはさんをさそつ
てくれました。その時、わたし
は友だちがいて、よかったな
あと思いました。わたしは、そ
う言ってくれる友だちをもつ
と大切にしようと思いました。
わたしも、だれか一人でしたら、
いっしょに遊ぼうとさそいた
いです。もつと、友だちをふや
して、いっばい遊びたいと思
いました。

いっしょに遊んだよ

北小3年 片桐 美咲

休み時間に、由りなさんと
一りん車をしました。

由りなさんは、とてもうま
くて、わたしにはおいつけま
せんでした。でも、おしえて
もらって、うまくできるよう
になって、うれしかったです。
なんで、さいしよはあんな

標語 北小3年

米山 結菜

一人の子、さそつてみんな
で、遊ぼうよ。

中村 朱琳

みんなとね、遊ぶとえがお
が、いっばいだ。

大澤 花穂

友だちに、あした遊ぼと、
やくそくね。

大澤 侑花

みんなでね、ゆずりあつて、
うれしいな。

中村 瑠里

泣いてる子に、声をかけれ
ば、えがおになれる。



生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

その二十五

野生きのこ教室

夏の暑さがだんだん和らぎ
秋雨前線が活発になると、山
には待望のキノコが始めま
す。まず、イクチ(アマタケ)
が出て、続いてクロカワ(オ
シウニン)・シウゲンジ(ボ
ウズ)・マツタケと、条件
さえよければいろいろなキノ
コが出て、私たちを楽しませ
てくれます。そこで10月6日
に、旬の講座「野生きのこ教
室」を実施しました。当日は
近くの方だけでなく松本や東
京からも参加してくださる方
がいました。

山でキノコ採り

最初に、用意しておいたキ
ノコを見ながら、名前や特徴
だけでなく、食べられるかど



キノコ見つけたよ!



これ、食べられるのかな?

うかについて講師の先生に教
えてもらってから、大横沢林
道脇の町有林へキノコ採りに
出かけました。現地へ着くと、
みんなわれ先にとキノコを求
めて、様々な方向に散らばつ

ていきました。子どもたちは
はじめのうち、小さな毒キノ
コを見つけては「これ、食べ
れる?」「採っていつて先生
に聞こう。」と言つて袋へ入
れていきましたが、そのうちに、
イクチやシウゲンジといつ
た人気のあるキノコを見つけ
ることができて大喜びでした。
やがて、キノコ採りの時間が
終わり、みんな揃つて青年の
家に戻りました。自分の採つ
たキノコを新聞紙の上に並べ
て、講師の先生に名前を教え
てもらつたり、食べられるか
どうか見てもらつたりしまし
た。

先生に見てもらつた結果、
テングタケ・カキシメジといつ
た毒キノコやキチチタケ・ホ

コリタケといった毒ではない
が食用には不向きなキノコな
どもありました。その中に
シウゲンジ・ハナイクチ・
ハタケシメジ・イクチといつ
たおいしくて人気のあるキノ
コを覚えてもらうと、手を叩
いてにこにこ顔でした。

面白いキノコの話

お弁当のほかに、イクチの
お味噌汁とハナイクチのおろ
し和えを楽しんでもらつた昼
食が済むと、講師の先生から
写真を見ながらキノコの面白
いお話を聞きました。いま
で言われてきた「縦にさける
キノコは食べられる」とか「茄
子と一緒に煮たり、塩漬けし
たりすれば毒が抜ける」「イ
クチの仲間はずべて食べられ
る」といつたきのこに関する
迷信は間違いだと聞いてびっ
くり。また、似ているキノコ
でも食用と毒があるから注意
しなければならぬことなど
目からうろこが落ちるお話ば
かりでした。最後にマツタケ
をたくさん出す方法について
の先生のお話をお聞きして、
きのこ三昧の講座は終了しま
した。ちなみに、一日お世話
になった先生は下伊那地方事
務所の竹内嘉江先生でした。

台風に負けるなスポーツ

中川・松川 合同囲碁大会

9月28日(土)松川町中央公民館中会議室にて合同囲碁大会が開催されました。大会は、「迷人戦」と「本因忘戦」の二部制で行われ、「迷人戦」は「名人戦」を「本因忘戦」は「本因坊戦」をもじったものです。

迷人戦の部
優勝 中川 貞義(三段)
(松川町囲碁同好会)

本因忘戦の部
第4位 高木 雄二(二段)
(松川町囲碁同好会)

第5位 飯村 正雄(初段)
(松川町囲碁同好会)

第42回 南信少年柔剣道大会 剣道の部

10月13日(日)岡谷市民総合体育館にて第42回南信少年柔剣道大会剣道の部が行われました。

●小学生低学年の部 団体戦
優勝 松川中央小学校

先鋒 長砂 秀飛(4年)

次鋒 平島 颯人(4年)

中堅 熊谷 真綱(4年)

副将 大場 楓希(4年)

大将 水野 至應(3年)

補将 平島 弥佳(2年)

●中学生女子の部 団体戦
準優勝 松川中学校

(Bチーム)

先鋒 荒川 音花(2年)

中堅 橋場 萌(2年)

大将 本塩 麻衣(3年)

●中学生男子の部 個人戦
準優勝 松川中学校

丸茂 優太(3年)

●中学生女子の部 個人戦
準優勝 松川中学校

本塩 麻衣(3年)

第29回 北信越選手権大会 下伊那予選会

10月16日(水)下條村屋内ゲートボール場で行われた第29回北信越選手権大会下伊那予選大会に、松川ゲートボール連盟が参加しました。

2位 主将 矢津田 嘯
競技者 小椋 幸宏

平成25年度松川町夜間 ソフトボールリーグ

10月18日(金)に平成25年度松川町夜間ソフトボールリーグの閉会式が行われました。

Aリーグ

優勝 宗源原

準優勝 名南

第3位 大栢

Bリーグ

優勝 中央新井南部

準優勝 名子原クラブ

第3位 広小路

第7回南信州 アルプスマつかわ ロードレース大会

10月6日(日)第7回南信州アルプスマつかわロードレース大会が行われました。町内の方の結果は次のとおりです。

10 km 高校生 40歳未満男性

1位 米山 祐貴

10 km 男子総合

1位 米山 祐貴

10 km 40歳代女性

3位 鈴木紀美江

10 km 女子総合

7位 鈴木紀美江

5 km 高校生 30歳未満男性

久保 政人
清水 益夫
下澤 賢治

2位 田邊 正禮
3 km 小学生男子
5位 竹村 龍哉
3 km 小学生女子
4位 神部 紫音



第8回長野県 ジュニア武術太極拳大会

10月20日(日)東御市にて、第8回長野県ジュニア武術太極拳大会が行われました。

女子長拳 B

優秀賞 木下 瑞歩
(松川中3年)

女子刀術 B

優秀賞 木下 瑞歩
(松川中3年)

男子初級長拳

優秀賞 宮下 巡
(中央小6年)

男子初級棍術

優秀賞 宮下 巡
(中央小6年)

男子パンダ長拳

優秀賞 北原 秀磨
(北小2年)

女子初級剣術

1位 古林みなみ

平成25年度 松川町ゲートボール 連盟秋季大会

10月24日(木)豊丘村スポーツ館で松川町ゲートボール連盟秋季大会が行われました。

優勝 宗源原

準優勝 名南

3位 長峰

平成25年度 OBソフトボールリーグ

10月31日(木)平成25年度のOBソフトボールリーグの閉会式が行われました。

優勝 上新井クラブ

準優勝 上片桐クラブ

第3位 大島クラブ

平成25年度松川町壮年 ソフトボールリーグ

11月1日(金)に平成25年度松川町壮年ソフトボールリーグの閉会式が行われました。

優勝 城山クラブ

準優勝 上片桐球友

第3位 スターキング

(松川中2年)
2位 宮下 友希
(松川中2年)
3位 松前 桃子
(松川中2年)



皆で手を組み、地域で子どもを育てたい

福与子ども会育成会会長 坂本洋子さん

今年4月、松川町各地区の子ども会育成会で初の女性会長となった坂本洋子さん。三人の子育ての経験をいかし、次代を担う子どもたちの育成に奔走しています。

現在、福与地区の小学生は18人、中学生14人。10年前と比べ



松川町の天然記念物「ツツザキヤマジノギク」は10月〜11月に花を咲かせます。今年もその名の通り「筒咲き」の花びらをつけ開花しました。

ツツザキヤマジノギクは長野県絶滅危惧1A類の指定希少植物です。外来種によつて生育地が減り絶滅の危機にあります。そのような植物が松川町に自生しているのです。

今、町の社会教育委員のみなさんがこのツツザキヤマジノギ

3分の1に。「人数に関係なく、私たち大人ができることは何だろう、と考えます。家族単位での活動が多くなつたいま、子どもたちが社会とのつながりを持てるよう、その役割の一端を担えれば」。育成会主催の催しを年3〜4回行うほかに、

「地域で子どもを育てよう」と福与公民館、福与元氣村、福与そばの会など複数の団体と手を組んで催しを企画。11月24日に開催する「収穫祭」では子どもたちが主体的に行動できるようにし、協力し合うことの大切

さを伝えます。着任から半年が経ち、活動の様子を伺うと、夏休み行事に参加した子どもたちの表情が印象に残っているそう。「駒ヶ根の家族旅行村へ出掛けて木工やお菓子を作りました。興味がわけば意欲的に取り組め、工夫もできるようになる。皆の顔付きがふだんとは違つてみました」。12月にはサイエンスマジックショーを計画し、科学実験に挑戦です。「今年は「体験」に重点を置きました。来年は身近にあるもの、例えば天竜川に焦点をあてて自然や動植物、災害などさまざまな角度で地域を学べるよう考えたい」と抱負を語つてくれました。

クの保護活動に取り組んでいきます。その活動の源は「後世に、子どもたちに残したい」という思いです。活動を始めて3年、特定外来植物オオキンケイギク

後世に残したい

「希少種「ツツザキヤマジノギク」を守る 社会教育委員の活動」

やハリエンジュの駆除など、ツツザキヤマジノギクの生育地を守っています。「人の手を加えるのは自然と

はいえないかもしれない」とい

さを伝えます。

着任から半年が経ち、活動の様子を伺うと、夏休み行事に参加した子どもたちの表情が印象に残っているそう。「駒ヶ根の家族旅行村へ出掛けて木工やお菓子を作りました。興味がわけば意欲的に取り組め、工夫もできるようになる。皆の顔付きがふだんとは違つてみました」。12月にはサイエンスマジックショーを計画し、科学実験に挑戦です。「今年は「体験」に重点を置きました。来年は身近にあるもの、例えば天竜川に焦点をあてて自然や動植物、災害などさまざまな角度で地域を学べるよう考えたい」と抱負を語つてくれました。

う思いも持ちながら、それでも「無くなつてしまふのも悲しい」と、無理なく活動できるように区画を決めて保護しています。もともと外来種が持ち込まれたのも人の手によるもの。そこであれば在来のもを守るのも人の手、という考えもひとつではないでしょうか。

たのも人の手によるもの。そこであれば在来のもを守るのも人の手、という考えもひとつではないでしょうか。

たのも人の手によるもの。そこであれば在来のもを守るのも人の手、という考えもひとつではないでしょうか。



こころの詩

じゃがいもほり

中央小2年 櫻井ののか

じゃがいもをほつた。家ぞくみんなで

友だちの家のほだけ

のじゃがいもをほつた。

あついでほつたけど、

みんな いっしょにほつたら

赤むらさき色の おいもが

いっぱい出てきた。

おかあさんが

おいもを ふかしてくれた。

しおやバターや

しょうゆをつけて ほつた。

あまくて

いっぱい ほつた。

また おいもをほつて

みんなで ほつた。

わたしのいきもの

中央小2年 堀田つきみ

八日四日にわたしのいきものと

が生まれた

名前はまこちゃん

目がくりつとしてかわいい

今日は おうちにかえつてきて

からまこちゃんのめんどろ

をみた

「あつわつ。」

とわたしが言つとまこちゃん

がまねをする

まこちゃんがないちやつとき

はつたをうたつてあげたり

ゆらしてあげる

これからも まこちゃんのめ

んどろをみてあげたいな

俳句

小鳥来る

矢沢さち子(東浦)

胡弓の音鎮もる町へ風の盆

名月は雲よせつけず神申し

小鳥来る母の安否を訪ねらる

すさまじく浅黄斑は海めざす

料亭に秋刀魚の俳句掲げあり

短歌

笠雲

森下延子(諏訪形)

梅雨明けて笠雲被く富士山の

見え隠れる清里への道

夫よりのわが誕生日のプレゼント

山笑う谷を巡る一日

押し並べてヘクソカツラと人は呼ぶ

サオトメバナとうよき名もあるに

晴れ男晴れ女のいるツアー旅

視界ゼロなる立山を越す

つね日頃静もる杜に子供等の

声賑わえる秋まつりの午後

声

「宿場を巡る」 町史探訪の音

光澤 正之

町史を読み進めながら実際にその場所を訪れ学習している「松川町史探訪の会」では9月24日に宿場巡りをしました。



移転された宮田本陣の見学

江戸時代に整備された五街道。そのうちの1つが中山道ですが、これは国（幕府）の道でいわゆる「公道」です。これとは別に私たちの住む伊那谷を通っている街道が「伊那街道」で、中山道の塩尻宿から南に分かれ、伊那谷を通り根羽をぬけ、足助・岡崎を経て名古屋に通ずる街道です。大島宿や片桐宿はこの伊那街

道の宿場です。

大島宿や片桐宿については地元のものなので現在の様子はわかりませんが、今回はそのほかの伊那街道の宿場などを巡ってみました。向かったの

は松川町より北の方面です。今回も資料館の酒井幸則さんに解説をもらいながら飯島から塩尻までの宿場跡を探訪しました。

建物など現存しているものは少なく、現存するものの一は文化財として保護されています。しかし、宿場を見学する気持ちで見ると、意外にも多くの名残を見ることができ普段は見過ごしてしまような宿場らしいものもたくさんありました。地域によつ



小野宿散策

で宿場全体を保護しており、さすがの景観です。

今回宿場を学ぶ中で、伊那街道は中山道のような公道ではないものの、早くて安い運送業「中馬」が特に発達し、賑やかな人々の往来があったことがわかりました。大島宿や片桐宿も、さぞ活気に満ち溢れていたのだろうと想像をふくらませました。

なお、今回読み進めてきた町史は、第三巻478ページからの「第八節 伊那街道宿駅と地域の交通」です。みなさんもぜひ読んでみてください。



奈良井宿の家並み

ては宿場であったことを1つの町おこしとして景観を整備するなど「地域の個性」を生かして活動しているところもありました。

塩尻にたどり着いたあとは「公道」中山道を通り奈良井宿も探訪しました。奈良井宿は日本を代表する宿場の1つ

2022年

来年の4月から小学校に入学する長女と、練習を兼ねて自宅から小学校まで歩いてみた。

本番さながらに、お気に入りの本を何冊も入れたリュックを背負って出発。最初は、道路脇の草や花を摘んでルンルンだったものの、次第に嫌になり、しりとりを提案するも拒否する始末。なんとか豪華なお昼をエサに40分かけてゴール。

往復約6km。小学校、中学校合わせて9年間徒歩で通うことを思うと、体力的、精神的にかなり鍛えられると思う。

今は何でもボタン一つ、電話一本で自分の欲求が満たされる時代。長い学校生活は、雨の日も、雪の日も、時には行きたくない日もあったり、自分の思い通りにいかないことのほうが多いと思う。

そんな中を自分の足で往復し、行き帰りの道中、いろんなことを考え、悩みながら一歩一歩歩んで行つてもらえたらと思う。

公民館報は、今月号が601号というところで、次の目標に向かって一歩を踏み出したばかり。

それぞれの活動の想いを形に残しながら、一歩一歩確実に毎号の製作に臨んでいけたらと思う。

(大東洋文)



まちの石仏 ⑳ 「猫神さま」(華厳寺)

蚕に悪さをするネズミの天敵、「猫」を養蚕の守護神とした。



公民館報
「まつかわ」
第 601 号
平成25年11月15日

発行所 松川町公民館
責任者 矢澤 登
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)